

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回藤井寺市保健福祉計画推進協議会・いきいき長寿部会
開 催 日 時	令和5年3月10日（金）午後1時半から午後3時まで
開 催 場 所	藤井寺市役所 本庁 3階 305会議室
出 席 者	<p>委 員：部会長 藤本 恭平 副部会長 長畑 多代 委員 落合 伸行 中西 秀之 福塚 充 西野 由美 明石 マスミ</p> <p>事務局：健康福祉部長 大山 哲也 健康福祉部次長 川村 務 高齢介護課長 高垣 光宏 健康課長 村本 匡成 健康課課長代理 有信 恵美 高齢介護課課長代理兼総務担当チーフ 澤多 良明 高齢介護課課長代理兼サービス担当チーフ 村上 敏幸 高齢介護課高齢者福祉支援担当チーフ 松井 伴樹 高齢介護課総務担当 井原 佳奈子 佐藤 美早紀 高齢介護課サービス担当 金生 祥代 地域包括支援センター係長 漆島 典子 地域包括支援センター 羽根 武志 (株)サーベリサーチセンター大阪事務所 片山 良巳</p>
欠 席 者	なし
会 議 の 議 題	<p>(1) 『第9期藤井寺市いきいき長寿プラン』の概要と計画策定に向けた今後のスケジュール等について</p> <p>(2) 『第9期藤井寺市いきいき長寿プラン』策定のために実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果の報告について</p> <p>(3) その他</p>
会 議 資 料	<p>・【資料1】国の動向について</p> <p>・【資料2-1】藤井寺市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p>

	<p>《集計結果の概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料2-2】藤井寺市在宅介護実態調査《集計結果の概要》 ・藤井寺市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票 ・藤井寺市在宅介護実態調査票 ・いきいき笑顔応援プロジェクトのちらし
会 議 の 成 立	委員7人中7人の出席があり、藤井寺市保健福祉計画推進協議会規則第7条第5項の規定により成立
傍 聴 者	0名
会 議 録 の 作 成 方 法	要点記録
記 録 内 容 の 確 認 方 法	出席した委員の確認を得ている
公 開 ・ 非 公 開 の 別	公開

審 議 の 内 容	
<p>(1) 『第9期藤井寺市いきいき長寿プラン』の概要と計画策定に向けた今後のスケジュール等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より資料1に基づいて説明。 <p>【質疑応答】</p> <p>部会長：資料1に「第9期計画において記載を充実する事項」(案)が記載されています。この2～3年間はコロナ禍の影響がかなり多かったのですが、今回はその辺りの対応は特に盛り込んではいないのでしょうか。</p> <p>事務局：国の介護保険部会についてはコロナ禍の検証を特定してやっているということはありません。社会的な背景としては、外出機会の減少であるとか、介護保険サービスの利用控えの問題が出てきております。保険料に今後のサービス給付額の伸びを考慮していくという話もありましたが、保険料算定の際に反映していく内容になるかと思えます。</p>	
<p>(2) 『第9期藤井寺市いきいき長寿プラン』策定のために実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より資料2-1及び資料2-2等に基づいて説明。 <p>【質疑応答】</p> <p>委員1：施設入所の検討状況で「入所・入居を検討していない」が74.9%とありますが、軽度だからなのか、それとも事情があってこういう結果になっているのか。すごく多いなと思うんですが。</p>	

また、一番気になっているのは移送サービスについてです。これから高齢者が多くなりますから、そういうことも考えてほしいなと思います。

部会長：施設への入所をまだ検討していない方も多くおられますが、やはり検討している方もいらっしゃると思います。それから移動手段の問題もあります。藤井寺市の特性という意味では、集約されているとはいえ移動手段がないと動けなくて困っている方もおられます。アンケート調査から藤井寺市独自の問題の抽出ができたのではないかと思います。

委員2：移送サービスについて、循環バスはありますが、本当に1日にしか回ってきませんので、もっと使い勝手が良いシステムがあればいいなと思います。

部会長：介護者の年代を見ても老老介護が半分以上です。家族の介護の負担も増えていると思います。資料2-2の2ページ下を見ると、週に一度も家族が来られないというのも現実です。

委員3：自分が介護を受けなければならなくなったらどこに相談したらいいのかなど。社会福祉協議会の中の包括支援センターに言ったらいいのかなどと思っています。自分の立場としては、町内の老人会でこういうことを説明しなければならないなと思いました。

部会長：ニーズ調査の9ページ、前回調査（令和2年）の時には幸福度が10点の方がおられました。今回は10点の方はおられませんでした。年齢層も違いますし、今回はコロナのこともあったのかもしれませんが、これがちょっと気になりました。それから地域づくり活動への参加意向についてですが、これは町内会、老人会に入会している、もしくは地域の会に入っている方というかたちでの設問ですか。国や市町村、地元が支えられるところは支えていただかなければならないのですが、数が3倍、4倍と増えていますので、支えることも経済的な面も含めて非常に厳しくなっています。民生の方も含めて地域、それから町会の組織率も上がってこない。家族もだんだん疎遠になっていきますし、家族単位も小さくなっていく。まして支える子どもたちも減ってくる。何が一番優先かというのもなかなか難しいです。

調査結果を出していただいて、前回との比較もしていただきよく分かりました。

（3）その他

- 部会長より今後のスケジュールについて言及。

【質疑応答】

事務局：次回のいきいき長寿部会は7月を予定しています。

閉 会

（終）

